

第88回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】子育て支援について①

商業施設の中に予約せずに自由に遊ばせることができたり、一時預かりサービスが利用できたりする施設を作ってほしい。

⇒【村長コメント】

駅西に複合ビル等ができれば、その一角を子育て支援のスペースとして利用する考えがある。複合ビルの建設について地権者と具体的な話ができていないため、今すぐの対応は難しい。子育て支援センターについては、現在休止中の百塚保育所が令和4年度から再開する予定なので、ぜひ活用してほしい。

【1】子育て支援について②

キッズスペースのある飲食店を増やしてほしい。

⇒【村長コメント】

キッズスペースを整備したことで、“利用客が増えた”という事実がわかれば改修してくれるお店も出てくると思う。そこに村が補助金で応援する仕組みをつくれば村としても背中を押すことになるし、整備する店舗も増えてくるかもしれない。ご意見として伺う。

【1】子育て支援について③

“ママのリラックスタイム”のようなお母さん同士の交流の場を一部のコミセンだけでなく、各コミセンで開催してほしい。

⇒【村長コメント】

真崎コミセンで行われている“ママのリラックスタイム”は、母子保健推進員と真崎地区社協の共催により、住民主体のグループが行っている。今後のニーズ次第ではあるが、村として同様の場を設ける努力をしていければと思う。ご意見として伺う。

⇒【健康増進課コメント】

コミセン等において、地区社協による住民主体の子育て支援として、各地域の特性に応じた母と子交流ができる場が、下記のとおり設置しております。

- ・真崎地区：真崎コミセン（ママのリラックスタイム）
- ・中丸地区：中丸コミセン（キラキラサロン）
- ・石神地区：石神コミセン（クリスマス会、七夕、ペアレントトレーニング）
- ・舟石川地区：舟石川コミセン（ベビーマッサージ）
- ・白方地区：百塚集会所（クリスマス会、三世代交流）

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大により、住民主体の子育て支援の継続が難しい状況となっておりますが、感染拡大の状況に応じて実施しております。

その他、各村立保育所に併設されております子育て支援センターにおきましては、感染対策として予約制や人数制限等がありますが、お母さん同士の交流の場としてご利用いただけるようになっております。

現状としましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制限はありますが、村内には多くの子育て支援の場がございますので、ご自身の希望に沿った場をご活用いただきたいと思います。

【2】公園の遊具について

阿漕ヶ浦公園や近隣公園のような複合遊具のある公園を増やして、利用者を分散させてほしい。コロナ禍であるのに、大きな公園が密になってしまっていることが問題だと思う。
また、小さな児童公園に1つでもいいので遊具を追加してほしい。

⇒【村長コメント】

2年ほど要するが、東海病院近くの新しい道路の橋の下に芝生の広い公園を整備する予定である。完成すれば今よりは分散できる。

また、児童公園への遊具の追加設置は、土地面積の問題や維持管理費の都合もあるのでなかなか難しい。一方で、各地区に遊具が充実した公園が欲しいという話を耳にするので、それに応えられるようにしたいと考えている。

現在、村では、既存の児童公園にどんな遊具が必要か、地域の方々に意見聴取している。今後は、子育て世代の方々の意見も積極的に聴取していきたい。

※特筆事項がなかった方につきましては、掲載を割愛させていただきます。